

児童発達支援【支援プログラム】

児童デイサービス空は、本人主体の個別支援計画を作成し、5領域に基づく以下の支援プログラムを組み合わせた活動を行っています。

(ア) 健康・生活

- ・心身の健康状態の把握（来所時の体温測定、支援中の健康観察 等）
- ・生活リズムの安定（定時に行なう活動、長期休暇時の規則正しい生活の維持 等）
- ・構造化を意識した環境設定（絵カードなどを使った具体的な表示 等）
- ・基本的生活スキルの獲得（手洗い、手指消毒、クッキングを通した食育や家事体験、買い物学習、トイレトレーニングや食事に関する支援 等）

(イ) 運動・感覚

- ・体操や軽い運動（リズム体操、体幹トレーニング、ビジョントレーニング、風船バレー 等）
- ・姿勢の保持（挨拶時などの姿勢指導や補助手段を活用した支援 等）
- ・感覚に特性がある児童への配慮（イヤーマフの使用、クールダウンできる部屋などの環境設定 等）

(ウ) 認知・行動

- ・日付の把握や天気に関する認知の形成（日めくりカレンダーでの確認 等）
- ・時間に関する認知の形成（タイマーの活用、タイムテーブルの確認 等）
- ・物質の変化と感覚に関する認知の形成（粘土、スライム、水遊び 等）
- ・空間把握に関する認知の形成（ブロック遊び、ビー玉転がし、パズル 等）
- ・季節の変化への興味などの感性の形成（施設外活動、季節の散策、季節の行事 等）
- ・適切な行動の形成、認知の偏りへの配慮（環境設定、小集団でのゲーム 等）

(エ) 言語・コミュニケーション

- ・言語の獲得・聞く力の形成（絵本や紙芝居の読み聞かせ 等）
- ・言語の受容・表出支援（はじまりの会や終わりの会での発言機会、グループワーク 等）
- ・言語に特性がある児への配慮（絵カードを使ったコミュニケーション支援 等）

(オ) 人間関係・社会性

- ・アタッチメントの形成（スキンシップ遊び 等）
- ・他者との関りの形成（見立て遊びやごっこ遊び、レクリエーション 等）
- ・協同遊びへの支援（鬼ごっこなど役割のある遊び、ルールのある遊び 等）
- ・社会資源の活用（公共施設等での施設外活動（公園、図書館 等）、社会見学）

本人支援の5領域とは？

【本人支援】は、子どもの成長発達の側面から5領域にまとめられ、これらの支援内容はお互いに関連したり、重なりあっています。

本人支援の目標は、「子どもが将来、日常生活や社会生活を円滑に営めるよう にするもの」です。

5領域 ねらい

(ア) 健康・生活

- (a) 健康状態の維持・改善
- (b) 生活のリズムや生活習慣の形成
- (c) 基本的な生活スキルの獲得

(イ) 運動・感覚

- (a) 姿勢と運動・動作の向上
- (b) 姿勢と運動・動作の補助的手段の活用
- (c) 保有する感覚の総合的な活用

(ウ) 認知・行動

- (a) 認知の発達と行動の習得
- (b) 空間・時間、数等の概念形成の習得
- (c) 対象や外部環境の適切な認知と適切な行動の習得

(エ) 言語・コミュニケーション

- (a) 言語の形成と活用
- (b) 言語の受容及び表出
- (c) コミュニケーションの基礎的能力の向上
- (d) コミュニケーション手段の選択と活用
- (e) コミュニケーション機器の活用

(オ) 人間関係・社会性

- (a) 他者との関わり(人間関係)の形成
- (b) 自己の理解と行動の調整
- (c) 仲間づくりと集団への参

※職員の質の向上に向けた取り組み

月 1 回以上の勉強会、職員研修、事例検討会を実施し、職員一人ひとりの専門性の向上を図る。